

株式会社有明ねっこむ

第12回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成30年5月28日(月) 午後4時30分～
2. 開催場所 株式会社有明ねっこむ 会議室
3. 委員の出席

委員総数 : 6名

出席委員数 : 6名

出席委員 : 石丸 智士委員長、香山 真理子副委員長
高木 洋一委員、大石 教義委員
古賀 武委員、城戸 久信委員

放送事業者側出席者 :

代表取締役専務 納富 和由紀

FMたんと局長 永江 美穂

FMたんと 椋島 みらい

4. 議題 : (1) 番組の内容について
 - ①平成30年4月11日(水) 放送分
特別コーナー「道山れいんの大牟田詩」
 - ②平成30年5月24日(木) 放送分
「情報発信 あっ!らジお」
- (2) その他意見交換

5. 審議内容 :

議事に先立ち、放送に関する報告として、前回の放送番組審議会から本日まで、訂正・取り消しの放送、また、放送内容に対する苦情・意見が無かった事を報告し、その後議題に沿って審議を進めました。

- (1) 番組の内容について

以下2つの番組・コーナーについてあらかじめ放送事業者から説明し、審議を行った。

- ① 平成30年4月11日(水) 放送分

特別コーナー「道山れいんの大牟田詩」

社名	株式会社有明ねっこむ
----	------------

【番組についての意見、質問】

(委員) このコーナーはシリーズで放送したのですか？

(事業者) はい。4月4日から5月2日までの毎週水曜日に5回シリーズで放送いたしました。

(委員) 収録は1回で撮られたのでしょうか？

(事業者) そうです。1回の収録で5放送分を収録し、編集は弊社スタッフが行いました。編集については、収録された方と連絡を密に取り、細かい編集技術などを習得する機会となりました。

(委員) コーナーは何分ぐらいで放送していますか？

(事業者) 約10分で放送しました。構成としては、前半は地元の方と道山さんが会話形式で世界遺産の話や大牟田の思い出話、後半は道山さんが詩人の道山れいん氏としてご本人が作られた詩の話をされました。

(委員) 詩の部分は面白くて聞きやすいですが、題名でもある「道山れいんの大牟田詩」の「詩」が聴くだけでは「市」なのか「詩」なのか「史」なのかわからない印象でした。

(事業者) お聞きいただいた内容は一部で、放送の中では大牟田詩の説明もしております。

(委員) コーナー構成は、道山さんの頭の中で構成されており、会話されてある大牟田市役所の方はわかられてないように感じて、聞いている側としては乱暴な気がしました。

(事業者) そうですね。次回の放送では前回よりもきちんとした構成で放送することができると思います。

(委員) 方言で話されていたので親近感を感じました。道山さんと大牟田市役所の方は高校の同級生とかですか？

(事業者) いいえ、道山さんを大牟田市の世界遺産に案内された方ですが、大牟田の世界遺産にとっても詳しい方です。

社名	株式会社有明ねっこむ
----	------------

② 平成 30 年 5 月 24 日（木）放送分

「情報発信 あっ！らジお」

【番組に関する意見、質問】

（委員）お店での取材音源は聞きづらかったです。

（事業者）取材は IC レコーダーで収録してあります。また、この番組に関してはお客様所有のスタジオで収録し、放送できる形で納品していただいています。

（委員）納品された音源について内容の検品はしているのでしょうか？

（事業者）はい。内容が分かる紙と一緒に納品していただくので、その紙を基に検品を行っております。

（委員）この番組の内容は荒尾市の話題だけですか？

（事業者）そうです。荒尾市の飲食店やイベントを、地元の歌手とアイドルがパーソナリティとして番組を作ってもらっています。

（2）その他意見交換

（委員）聴取率の調査はしていますか？

（事業者）今のところしていませんが、今後検討していきます。

7. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社ホームページに掲載（平成 30 年 5 月 31 日掲載）

社名	株式会社有明ねっこむ
----	------------